

# 世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2011.2.25 No. 98 連絡先 FAX 042-555-1911



## 本来、日本に負担義務のない米軍への「思いやり」累計6兆円以上！ 1881億円規模の「思いやり予算」5年間固定化 驚きの民主党政権

6兆円以上のなかには、いわゆる「思いやり予算」と、第2の「思いやり予算」といわれる SACO 関連経費、そして米軍再編経費が含まれています。いずれも日本に負担義務のない米軍への「思いやり予算」です。民主党政権が5年間固定化をねらっているのは、いわゆる「思いやり予算」で、2010年度の1881億円規模としています。この中の施設整備費はピーク時には1000億円を超えていましたが、2010年度は206億円で、いわゆる「思いやり予算」は減少傾向です。

それなのに1881億円規模を維持するということは米軍への大盤振る舞いです。施設整備費は減少しましたが、それに変わって SACO や米軍再編経費で施設を大量につくっているの、2010年度の SACO や米軍再編経費を加えた「思いやり予算」は3370億円で過去最高額です。さらに米軍再編で海外のグアムの施設建設に莫大な経費を予定しており天井知らずです。

思いやり予算の削減・廃止を求める請願署名に平和委員会も取り組んでいます。ご協力を！

	2010年度	当初からの累計 (横田累計*推計)	開始年度
いわゆる「思いやり予算」	1881億円	約 5兆7千億円 (*4984億円)	1978年度
労務費	1420億円	3兆0730億円 (*2612億円)	1978年度
施設整備費	206億円	2兆1817億円 (1805億円)	1979年度
光熱水費	209億円	4908億円 (567億円)	1991年度
訓練移転費	5億円	65億円 (米空母艦載機訓練移転)	1996年度
SACO 関連経費 (沖縄)	169億円	2373億円	1997年度
米軍再編経費	1320億円	2471億円 (544億円)	2007年度
負担義務のない経費の合計	3370億円	約 6兆3千億円 (*5528億円)	(当初予算のみ)

(累計の金額は、細部での四捨五入などで、計算が合いません。当初からの累計についてはミニ情報No. 77を参照してください。横田基地での推計金額は主に労務費で、横田基地従業員数から割り出しています。)

## 2006年7月、北朝鮮のミサイル発射後、横田基地に偵察機が3機駐機

2006年2月、横田基地に日米共同統合運用調整所が設置されこの時に対応しました。(写真: RC135S 偵察機コブラボール、WC135W 大気収集機コンスタント・フェニックス、RC135W 偵察機リベットジョイント)



# 航空総隊（こうくうそうたい ADC:Air Defense Command）とは (No. 98 裏面)

航空自衛隊の府中基地にある航空総隊とは。フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』には、次のように書かれています。

「航空自衛隊の戦闘機部隊および高射部隊、警戒管制部隊などの防空戦闘部隊を統括する組織である。また航空支援集団・航空教育集団・航空開発実験集団・航空自衛隊補給本部と共に航空自衛隊の5個メジャーコマンドを構成している。

航空総隊司令部は東京都府中市に所在する。その地下にあると噂されているシェルターには作戦指揮所が設けられており、有事の際は戦闘機部隊、高射部隊および各地のレーダーサイトなどとリンクしたシステムによって総隊司令官が部隊の指揮を執る。総隊司令官は空将であり、幕僚長（空将補）がこれを補佐する。

ミサイル防衛では、航空総隊司令官が海上自衛隊のイージス艦をも含めた BMD 統合任務部隊の指揮官を兼務する。これに関連し、航空総隊司令部は 2012 年度末を目処に現在地を引き払い、アメリカ軍との防空・ミサイル防衛の情報共有・連携強化を目的として在日米軍横田基地内に移設し、総隊司令部幕僚長職を「航空総隊副司令官」職に変更する見通しである。」

次ぎは、航空自衛隊のホームページから「航空総隊の任務」です。

「航空総隊は、警戒管制レーダーや空中警戒管制機 (AWACS) などによりわが国周辺を常時警戒監視し、領空侵犯のおそれのある航空機を発見した場合、スクランブル機を発進させ、状況を確認し領空を侵犯させないための行動を行っているほか、有事においては航空自衛隊が行う航空作戦（右 1～6）を実施します。

また、最近では弾道ミサイルに対する防衛 (BMD) の任務も付与されております。さらに、大規模災害発生時には被災地への災害派遣等も実施しております。

1. 侵攻する敵航空戦力を撃破して防護対象を防衛する防空、
2. 敵陸海戦力を弱体化させる航空阻止
3. 陸上部隊を支援する近接航空支援、
4. 海上部隊を支援する海上航空支援、
5. 陸海空の各種作戦に必要な情報を空から収集する航空偵察、
6. 敵の攻撃から航空基地を守る基地防衛

図表Ⅲ-1-2-2 BMD 整備構想・運用構想 (イメージ図)



## BMD

弾道ミサイル防衛とは何んでしょうか。左の図は、防衛省のつくった「弾道ミサイル防衛の整備構想・運用構想のイメージ図」です。下方の「BMD統合任務部隊指揮官」が米軍横田基地に移転、日米軍事一体化します。危険な横田基地です。